

龍潭寺「歴史的建築でのコンサート」 ～音楽と映像で語る歴史物語～ 「宗良親王」

出演ー歌枕 直美(歌と語り)

総監督・脚本ー菅沼 登

音楽ーユニット歌まくら

制作ー歌枕 直美

和歌劇

宗 良 親 王

日 時ー二〇〇八年九月二十七日(土)

午後七時半 開演 (午後七時 開場)

会 場ー龍潭寺本堂 (浜松市北区引佐町井伊谷一九八九)

入場料ー一般：一、八〇〇円 (前売り 一、五〇〇円)

学生：九〇〇円 (前売り 七〇〇円)

主 催ー「歴史的建築でのコンサート」実行委員会

共 催ー奥浜名湖観光連絡協議会、井の国歴史懇話会

後 援ー龍潭寺文化財保護活用実行委員会、井伊谷宮、方広寺、

浜松市、静岡県観光協会、浜松観光コンベンションビューロー、
静岡新聞社、静岡放送、中日新聞東海本社、K-MIX、FM HARO!

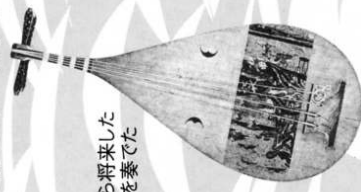
電話予約・お問い合わせーうたまくら。〇六(六三二七)三八七三

チケット前売り所ー龍潭寺、井伊谷宮

日本の各地に、歴史を伝える建築物があり、独自の伝承とそこに先人たちが織り込んだ知恵が眠っています。私たちは、そこに伝わる物語を音楽にして公演することにより、そこで眠っていた知恵を現代に再生できると考え、日本各地で公演を行ってきました。今回、この素晴らしい歴史のある、古代から水を司った一族・井伊家の菩提寺である龍潭寺にて、この地を愛した《プリンス》宗良親王の物語を公演することにより、きっと、皆様がこの佳き地の伝統を再確認して頂けると信じています。

和歌劇「宗良親王」とは

南北朝時代といふ動乱期に生きた宗良親王のみならず、父帝の後醍醐天皇や、その敵となった足利尊氏も、自らの気持ちや境遇を和歌に詠みました。和歌劇「宗良親王」では、それらに加えて、その時代を生きた人々が遺した和歌を新しい音楽に乗せて歌うことにより、宗良親王の人物像と、その時代を動かした人たちの心を現代に再生する舞台公演です。



後醍醐天皇は、唐から將來した琵琶の名器「玄象」を奏でた

和歌劇「宗良親王」のあらすじ [二部構成]

【第一部】 今から七百年あまり前、鎌倉幕府が強力な軍事力を誇って権勢をふるっていた頃の話。幕府の権力は、武士が土地を支配する権利を与えることによっていたが、その支配権を巡る争いが絶えなかった。幕府を取り仕切っていた北条氏を始め、裕福な武士たちは鬩犬に興じたり、金銀で飾った武器を持っていたが、一方、貧困のために奴隷の身分に陥った民衆もいて、恵まれない人にとっては閉塞感があった。

その時、皇位に就いた後醍醐天皇は、幕府と朝廷という権力の併存が諸悪の根源だと考え、それまでの慣習にとらわれない、全く新しい政府を作ろうと旗印に幕府を倒す活動を開始すると、多くの武士が幕府から離反し、鎌倉幕府は滅亡した。

【第二部】 後醍醐天皇は、全ての権限を自らに集中させるため人材の登用法を一変させ、朝廷の機構を改革しようとしたが、逆に貴族や官人の反発を招き、また倒幕に協力した武士たちへの恩賞が、武士たちにとって

期待外れだったため、足利尊氏を中心とした武士たちによって、天皇は都から追い出された。吉野の里に逃れた天皇は、巻き返しを図るため、宗良親王を始め自らの皇子を東国や西国に派遣して兵を募ることにした。

井伊家を頼りに遠州国にたどり着いた宗良親王は、井伊氏の姫を娶って井伊谷に住み着いたものの、三年もたたない内に足利方の攻撃によって城を落とされ、親王の流浪の旅が始まった。

その苦難の時に親王の心の支えになったのは、和歌を詠み、それによって遠く離れた吉野にいる友人と心を通わせたことだった。

有力な武士は、金銀でさらひやかに飾った武器をまとっていた



制作者のプロフィール >>>

菅沼 登 (すがぬま のぼる) - 総監督・脚本
「日本人の心のオペラを創りたい」「縄文時代から受け継がれてきた思想や知恵が今も静かに伝わっているのでは」そう思っている時に出会ったのが、歌枕直美の「音楽で綴る万葉集」だった。すぐに和歌を中心とした音楽劇「和歌劇」を着想し、2002年より「額田姫王」「遣唐使の物語」「富智の山」「空海」「大津皇子」などの作品を公演している。

菅沼 登 (すがぬま のぼる) - 総監督・脚本
「日本人の心のオペラを創りたい」「縄文時代から受け継がれてきた思想や知恵が今も静かに伝わっているのでは」そう思っている時に出会ったのが、歌枕直美の「音楽で綴る万葉集」だった。

すぐに和歌を中心とした音楽劇「和歌劇」を着想し、2002年より「額田姫王」「遣唐使の物語」「富智の山」「空海」「大津皇子」などの作品を公演している。

歌枕 直美 (うたまくら なおみ) - ユニット歌まくら言葉には力がある。その様な和歌・万葉集に、日本人の心の原点を感じ、それを長年学んできた西洋音楽と融合させ、1997年よりCD「音楽で綴る万葉集」シリーズを発表。さらに7年前より、音楽と画像を駆使した新しい舞台芸術「和歌劇」を制作し、国内外で公演。ポーランド公演では、日本の心を感じたとのの評価を得る。また、各地に残る歴史文化を再発見し、その中にある知恵を新たに展開してこうという試み「歴史的建築でのコンサート」を20回以上行っている。

龍潭寺周辺地図



龍潭寺交通のご案内

- 龍潭寺 静岡県浜松市北区引佐町井伊谷1989
 - 車をご利用の場合 (駐車場有り)
 - ・浜松西1.CよりJR257を北へ約20分
 - ・三ヶ日1.CよりJR362を東へ約25分
 - ・龍山寺温泉東街より北へ約20分
 - 天竜浜名湖線をご利用の場合
 - ・金指駅よりタクシーで約5分
 - ・気賀駅よりタクシーで約10分
 - JRをご利用の場合
 - ・JR浜松駅よりタクシーで約40分
 - ・JR浜松駅下車、遠州鉄道バス
 - ⑮番ポール奥山行き
- ～ 龍潭寺バス停下車、徒歩10分

綱澤 僚 (つなざわ りょう) - ユニット歌まくら作曲家としてCM音楽やTV番組のテーマ曲を手掛けていたが、歌枕直美との出会いによって万葉人の心に共鳴。「ユニット歌まくら」としてCD「音楽で綴る万葉集」シリーズで新たな領域に進出し、更に「額田姫王」から今回の「宗良親王」まで、すべての「和歌劇」の制作にも参画している。